

羅

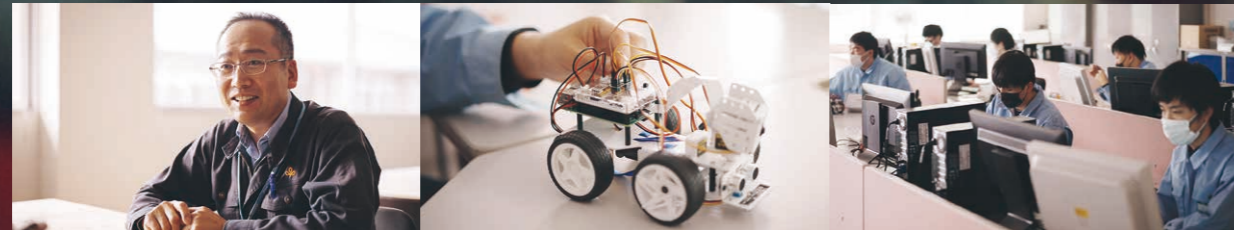
# 仙台高等技術専門学校

**多様な訓練科を擁す  
県内高技専の中核校**

県内5校ある高等技術専門学校の中で最多の訓練科を持つ仙台高等技術専門学校。電子制御システム科は2年課程で定員は20人。電子制御に必要な知識を習得し、分解・組み立て・調整、プログラミングなどにも、マイクログンピュータを用いての各種制御について学ぶことが出来る。

及川善尚技術主査は「2年間きっちり学べば、ものづくりの実際の現場からソフトウエアプログラミングまで、広い分野をカバーできるよになります」と話す。

及川技術主査が指導で心掛けているのは「分かりやすく伝えることだ。」「個々の生徒がどこでつまんでいるのかに常に注意を払い、その点を深く掘り下げ、最終的にはしっかり理解できるように、分かりやすく伝えることをいつも念頭において指導に当たっています」。同科では技能検定「電気機器組立て（シーケンス制御作業）」の2級、3級、基本情報技術者、工事担任者「第一級デジタル通信」といった資格取得に挑む。いずれも就職後の実用度が非常に高い資格である。



及川技術主査は「就職率は毎年ほぼ100%。2年間しっかり学び、社会のために働ける人になってほしい」と話す  
授業の中ではロボット製作なども行う  
同科の訓練生はC言語を使ったプログラミングについて学ぶ

## 仙台高等技術専門学校

□所在地/仙台市宮城野区田子1-4-1 □設置科概要/2年課程の電子制御システム科、機械エンジニア科、自動車整備科に加え、1年課程として、電気科、設備工学科、建築製図科、塗装施工科、サインデザイン科の計8科を設置。6カ月課程として、左官科、造園科を設置。1カ月課程として、ジョブセレクト科を設置。  
TEL 022-258-1151 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sd-kougi/>



電子制御システム科修了 (2019年度)

菅野 直樹さん Naoki Kanno  
凌和電子株式会社 生産本部機械組立課 (仙台市)

製品が組み上がったときのうれしさを日々感じています。

高校は宮城県農業高等学校の園芸科でした。祖母が畑を持っていて、自分もそれを手伝うのが好きだったので農業高校に進んだきっかけです。卒業後を考えてとき、将来は何かものを作ることを仕事にしたいと考えました。私にとってものを作るということは何も作物だけではなく、機械も同じように捉えています。そうした思いをもって、様々な進学先を探して一番面白そうだったのが仙台高等技術専門学校の電子制御システム科でした。数学はそれなりに自信があったものの、初めはついていけないか心配でしたが、先生方の丁寧な指導のおかげで授業が進むうちにその心配は打ち消されていき、毎日楽しくなっていました。同校を修了後、凌和電子株式会社に入社して3年。自分の手で日々、計測や制御に関わる製品を組み立てていますが、完成させると大きな喜びが得られます。もっと技術を磨くことが現在の目標です。

## 凌和電子株式会社

□仙台市若林区南材木町48番地(本社) TEL 022-266-4188  
<http://www.ryowa-electronics.co.jp/>



金

自動車整備科修了 (2011年度)

伊藤 伸治さん Shinji Ito

一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)  
宮城支部ロードサービス隊仙台南基地 (仙台市)

JAFのブランドをより高めるべく、強い責任感を持って仕事に当たっています。

スポーツが好きで中学校までは野球、古川工業高等学校に入ってからからはハンドボールに打ち込みました。今も高校のOBチームに所属し、外部コーチとして高校生に教えています。スポーツの一方で機械、車も好きでした。その思いが石巻高等技術専門学校自動車整備科に進んだ最大の理由です。ちなみに石巻高技専には毎日、自分で車を運転して通いました。行き帰りの約80キロ、運転は好きなので苦になりませんでしたし、運転免許証を取り立ての自分としては格好の練習の機会となりました。石巻高技専ではしっかりと自動車整備の基礎を学び、また、先生方が整備の実体験として話してくれたことが心に残り、それが今とても役立っています。卒業後、日本自動車連盟 (JAF) に就職して11年、信頼あるこのJAFのブランドを更に高めようと、強い責任感を持って日々過ごしています。

## 一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) 宮城支部

□仙台市若林区卸町3-8-105  
TEL 022-783-2826 <https://jaf.or.jp/>



# 石巻高等技術専門学校

石巻高等技術専門学校は、2年課程の自動車整備科、1年課程の金属加工科、木工科があり、さらに、6カ月課程として溶接科、配管科を設置している。自動車整備科は定員が20人、自動車の構造や機能の知識、整備作業の技術を学び、サービスマンとして必要な心得を習得することが出来る。

櫻井和伸技術主査は自動車整備科で送る2年間を「自動車にはほとんど先進技術が採用されています。基礎をしっかりと身に付け、先進技術の一端を学ぶ、そんな日々になります」と紹介する。2年生の最後には、就職後に現場で行う整備作業を想定し、校内で整備工場のシミュレーションを行い、理解を深める。2年間で櫻井技術主査が重んじるのはコミュニケーション能力を身に付けることだ。「ただ整備ができるだけではなく、車の使用者であるお客様にしっかりと説明ができ、また、心を通わせてお客様と対話できる整備士になることを求めています。」「ガソリン、ジーゼルの2級自動車整備士の資格を取得して就職する卒業生がほとんど」とのこと。就職率はほぼ100%だ。

社会に出て役立つ技術をしっかりと訓練生に習得させる



「ニーズは人によってそれぞれ。それぞれの人に合った提案ができる整備士になってほしい」と櫻井技術主査

ときには相談しながら、どこに問題があるのかを話し合う

車検整備の授業の一幕。2年生ともなると工具を扱う手付きもスマートだ

## 石巻高等技術専門学校

□所在地/石巻市門脇青葉西 27-1 □設置科概要/2年課程の自動車整備科に加え、1年課程として、金属加工科、木工科の計3科を設置。6カ月課程として、溶接科、配管科を設置。  
TEL 0225-22-1719 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kougi/>



般

技

能

の